

テーマ 息切れと咳 平成28年度漢方医学講座・臨床講座

## 息切れと咳

山王病院呼吸器センター内科部長 国際医療福祉大学教授

永田 泰自

(平成28年11月13日収録)

### 息切れと咳の原因疾患(図1)

まず息切れを起こしやすい病気と咳を起こしやすい病気を並べてみました。

息切れも咳も起こしやすい、この重なった部分のグループには、重症の呼吸器疾患が多いです。例えば典型的な喘息、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、間質性肺炎、重症肺炎、気胸、胸水などがあります。循環器疾患でも比較的重篤なもの、例えば心不全では、心臓喘息といわれる呼吸器疾患と紛らわしい息切れと咳を起こします。さらに肺血栓塞栓症、これも循環器科と呼吸器科の中間領域のものですが、重篤な呼吸器症状を起こします。

咳は起こすけれども息切れはあまり起こさないというグループには、比較的軽めの呼吸器疾患があります。普通の風邪や気管支炎、軽症肺炎、咳喘息、アトピー咳嗽などがあります。それ以外にも胃食道逆流症、副鼻腔気管支症候群、後鼻漏、心因性の咳などもあります。

息切れを起こすが咳を起こさないグループには、あまり呼吸器疾患はありません。循環器疾患や貧血などの血液疾患、代謝性アシドーシスなどの代謝性疾患、ギランバレー症候群などの神経疾患や心因性のものが入ります。

本日の話は、西洋医学的な診断の手順に従った形で進めます。ある症状を診たときにどういった診察方法をとるのか、どのように診断にたどり着くのか、診断がついたら、それに応じてどういった治療をするのか、こう

値です。全体の70%以上を吐き出せるのが正常ですが、70%を切るようだと息を吐く力が落ちていると考えます。閉塞性換気障害としては、喘息とCOPDが代表的です。この2つを鑑別するために、可逆性テストというさらに上乗せするテストがあります。気管支拡張薬を吸った前後で1秒量をみます。これで1秒量が12%以上増え、かつ200ml以上増えた時には可逆性があると考えて喘息だろうと推測します。そうでなかったらCOPDを疑います。この可逆性テストも大事です。

残気率、息を吐いた後にどれくらい空気が肺の中に残っているかをみる値です。35%を超えるような場合には、吐ききれてないということで、COPDを特に疑います。

拡散能(%DLCO)というのは、肺の中に入った酸素が血管の中にどれくらい移行するかという能力をみる値です。これが落ちている場合には、間質性肺炎やCOPDを疑います。

## 咳

「咳」に移りますが、定義、分類、主な原因疾患、診断手順に加え、咳の診断に大切な痰についてもお話しします。

### ■咳と痰の定義

咳とは「いったん声帯を閉じて胸腔内圧を上昇させた後に一気に声帯を開放して急な呼気を起こす運動」ということで、本来は異物や分泌物を排除するための生体防御反射です。

また痰というのは咳によって気道から喀出されるものの総称です。下気道の杯細胞や気管支腺からの分泌物、気道の脱落細胞、吸入された異物や細菌などが含まれています。

表7 咳の主な原因疾患

急性咳嗽 ( $<3$ 週間)	湿性	急性上気道炎、急性気管支炎、細菌性肺炎、肺化膿症、喘息、肺水腫など
	乾性	非定型肺炎、胸膜炎、気胸、肺血栓塞栓症など
遷延性・慢性咳嗽 ( $\geq 3$ 週間)	湿性	喘息、COPD、副鼻腔気管支症候群、気管支拡張症、肺結核、肺癌など
	乾性	感染後咳嗽、百日咳、咳喘息、アトピー咳嗽、胃食道逆流症、間質性肺炎、肺癌、過敏性肺炎、薬剤性、心因性など

### ■咳の分類

湿性咳嗽と乾性咳嗽の二つに分かれます。

痰を伴うものが湿性咳嗽、痰を伴わないものが乾性咳嗽です。

湿性咳嗽というのは合目的な咳です。痰があるので咳をしなければならぬ。咳よりも痰が問題だということです。乾性咳嗽のほうは、無駄な咳で、出すものもないのに勝手に咳をして咳で苦しんでいるという状況です。咳自体が問題です。

それから時期(持続期間)も大事です。急性咳嗽は3週間未満です。3週間を超えて8週間未満持続する咳を遷延性咳嗽といい、8週間を超えたら慢性咳嗽と呼びます。重要なのは3週間を超えるかどうかで、急性咳嗽と遷延性・慢性咳嗽の2つに分けることもよくあります。急性咳嗽というのは皆さんもご承知の通り、風邪のような軽症で感染性の病気が多いわけです。咳が長びけば長びくほど感染性の病気の頻度が減ってきて、重篤な病気が増えていくということで、3週間が一つの区切りになります。

### ■咳の主な原因疾患(表7)

3週間を切る急性咳嗽で湿性のものは、急性上気道炎や急性気管支炎、細菌性肺炎、肺化膿症、喘息、肺水腫などです。急性咳嗽で、主に乾性のものとしては、非定型肺炎、胸膜炎、気胸、肺血栓塞栓症などがあります。

3週間を超える遷延性・慢性咳嗽で、湿性のものには、喘息、COPD、副